



立正大学大学院 経済学研究科

Rissho University
Graduate School of Economics

大学院入学試験について

	募集人数	試験科目	試験日程
修士課程	10名	小論文・面接	12月・2月
博士課程	6名	面接	12月・2月

立正大学経済学部・経営学部・法学部・データサイエンス学部からの
進学者は学内進学の対象者となります。
詳細は右記コードから大学院入試サイトをご覧ください。

立正大学
大学院入試サイト



長期履修制度

本制度は、通常、修業年限を2年とする大学院修士課程を3～4年、修業年限を3年とする博士後期課程を4～6年かけて修了することのできる制度です。そして、経済的負担などを考慮し、授業料等は通常の修業年限分の総額を長期履修制度による修業年限(修士課程で3～4年、博士後期課程で4～6年)で分割した額を1年分として納入していただきます。

※そのほか、立正大学大学院における制度・施設については、最新の『大学院案内』をご確認ください。

奨学金制度

研鑽に励む学生に対して研究科の特性に即した支援を行うことにより、優秀な研究者の養成及び社会で広く活躍する人材の育成を目的としています。大学院生の研究生活を経済的に支援するため、下記の通り、さまざまな種類の奨学金制度があります。最新の情報については、ホームページをご確認ください。

- 立正大学大学院特別奨学生奨学金(給付)
- 立正大学大学院研究科別奨学生(給付)
- 立正大学大学院緊急支援奨学生(給付)
- 立正大学校友会大学院研究奨励(給付)
- 日本学生支援機構奨学金(貸与)
- 外国人留学生向け奨学金授業料(授業料減免制度)
- その他
 - 立正育英会(給付型)
 - 守谷育英会(給付型)
 - 松尾金蔵記念奨学基金(給付型)
 - 都道府県の奨学金制度も利用可能。

詳しくは
こちらから

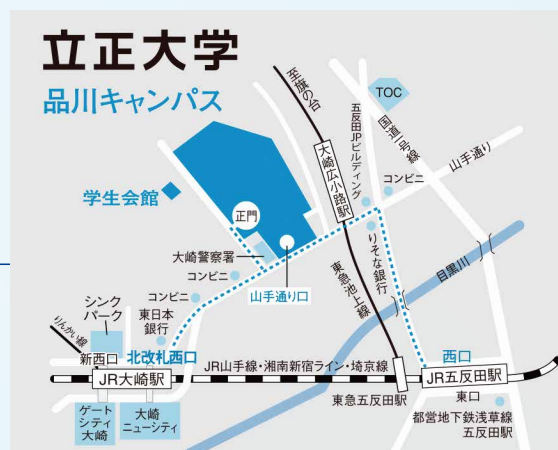


立正大学大学院 経済学研究科

<https://keizai.ris.ac.jp/master/>
TEL:03-3492-7529 E-mail:eco@ris.ac.jp

アクセス

〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16
JR 山手線:五反田駅または大崎駅下車徒歩5分
都営浅草線:五反田駅下車徒歩5分
東急池上線:大崎広小路駅下車徒歩1分





研究科長挨拶

立正大学は150年以上の歴史を持つ大学で、経済学研究科は1988年に創設されました。本研究科の特徴は優れた研究環境、個性尊重型の指導体制、中国経済に焦点を当てた幅広い研究分野、多様なカリキュラム体系で留学生向けの日本語教育にも力を入れています。社会人のための入試制度や長期履修制度も導入しており、社会人学生も多く学んでいます。ぜひ立正大学経済学研究科の扉を開いてください。

研究科長 王 在喆

| 専門分野 | 経済発展論、中国経済論

教員紹介



戎野 淑子

専門分野

労関関係論、労働経済学



苑 志佳

専門分野

中国経済論、アジア経済論



王 芮

専門分野

マクロ経済学



小沢 奈美恵

専門分野

アメリカ文学とアメリカ文化



小沢 佳史

専門分野

経済学史



小野崎 保

専門分野

非線形経済動学、複雑系経済学



川口 真一

専門分野

財政学、租税論



河原 伸哉

専門分野

国際経済学、環境経済学



北原 克宣

専門分野

農業経済論、地域経済論、土地経済論



慶田 昌之

専門分野

金融論、マクロ経済学、国際金融



小林 隆史

専門分野

都市地域計画、オペレーションズ・リサーチ



小林 幹

専門分野

非線形力学系の解析と制御



櫻井 一宏

専門分野

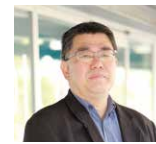
環境政策評価、流域・沿岸域管理政策



真田 治子

専門分野

日本語学、計量言語学、日本語史



芹田 浩司

専門分野

開発経済、ラテンアメリカ経済、多国籍企業論



平 伊佐雄

専門分野

ヨーロッパ中世経済史、修道院史



高橋 美由紀

専門分野

日本経済史、歴史人口学



外木 好美

専門分野

企業の設備投資行動、無形資産、企業価値



中村 宗之

専門分野

経済理論(貨幣、信用論、分配論)



林 康史

専門分野

金融論、外国為替論、金融法



ホームマン 由佳

専門分野

英語教育、メディア英語



宮川 幸三

専門分野

経済統計学、産業連関分析



村田 啓子

専門分野

日本経済論



山口 和男

専門分野

ゲーム理論、公共経済学、ミクロ経済学



吉田 友美

専門分野

環境財や観光地の経済評価



渡部 真弘

専門分野

メカニズムデザイン

経済学研究科 修士課程・博士後期課程について

修士課程

経済システム研究コース

環境システム研究コース

地域システム研究コース

博士後期課程

経済システム研究コース

環境システム研究コース

地域システム研究コース

経済学研究科には、「経済システム研究コース」、「環境システム研究コース」及び「地域システム研究コース」の3つのコースがあります。「学生が研究者または高度な職業人として自立した研究活動などを行うこと」に必要な研究能力およびその基礎となる豊富な学識を養うために、各コースに幅広い専門科目を配置しています。学生は、経済システムの科目、環境システムの科目および地域システムの科目などを総合的に学修し、各自の研究目標にあわせて計画的に研究を行います。また、修士論文を計画的に作成するための思考力・判断力を高めることを目的とした少人数クラスで行う講義・演習科目もあります。

■論文作成までのスケジュール(修士課程)

1年次

4月 入学式、研究指導計画作成

9月 修士論文中間発表聴講

10月 課外勉強会

★随時、研究・論文指導

2年次

4月 研究指導計画提出

9月 修士論文中間発表

10月 課外勉強会

1月 修士論文提出・口頭試問

3月 修了式

学修・研究環境

3つのコース

経済学研究科には、「経済システム研究コース」、「環境システム研究コース」、「地域システム研究コース」があり、幅広い専門科目を配置しています。学生はこれらの科目を総合的に学び、修士論文作成のための少人数クラスや演習科目を受講し、研究目標に合わせて計画的に研究を進めます。また、異文化交流を深めるための語学研修科目もあります。

豊富な教員陣と個性尊重の指導体制

経済学研究科には、理論から応用分野まで幅広い専門分野を指導できる教員が在籍しています。学生の個性や研究分野に応じた指導教員を選び、社会人には社会人入試制度や長期履修制度を提供しています。社会人学生も博士号取得を目指して学んでいます。

充実した研究サポート体制

研究科では、課外勉強会や合宿を通じて学生同士や教職員との交流を図り、院生専用の研究室には最新の設備が整っています。さらに、プロの日本語教師による日本語演習科目も開講され、留学生も正しい日本語で学位論文を作成できるようサポートしています。

